

本田俊育・永田要

出津救助院でド・ロ神父に協力した医師たち

本田俊育医師

永田要医師

当時の医療器具(ド・ロ神父記念館)

本田俊育(1856-1917) とかれの弟要(1855-1939)は、神浦の医師の家族に生まれました。俊育は西洋と漢方両方の医術を学び、要は国立の長崎医学専門学校で学びました。要は、卒業後、外海に戻り、婿養子として結婚し、当時の日本の習わしで苗字を永田と変えました。ド・ロ神父は、俊育と要に、出津救助院の医療施設での補助を依頼するとともに、彼らに医療行為を教えました。俊育は、西洋内科医学を、要は外科を学びました。彼は、生涯の友となったド・ロ神父と同じように、人生を外海の村民の幸福のために捧げました